

2009年の正会員の研究業績

浅野 信博

●研究論文

"Does Firm Strategy Have Systematic Effects in Predicting Future Cash Flows ?" Coauthor: A. Shiiba (Osaka Univ.) and Y. Murakami(Keio Univ.), Osaka City University Business Review No.20, 2009, pp.15-24.

●学会報告

「実証的監査理論の構築」(中間報告) 日本監査研究学会第32回全国大会課題別研究部会報告, 早稲田大学, 2009年9月10日。

「自己株式の保有目的および消却のアナウンスメント効果」 日本経営分析学会第25回秋季大会, 愛知学院大学, 2009年10月31日。

石井 真一

●著書

『日本企業の国際合弁行動—トロイの木馬仮説の実証分析』千倉書房、2009年12月27日、179頁。

“Evolution of Japanese partnership behavior in Japanese-European joint ventures in the EU: A test of the Trojan horse hypothesis” (Co-authored with Jean-François Hennart), in *Research on knowledge, innovation and internationalization: Progress in international business research volume 4*, Larimo, J. and T. Vissak (Ed.), Chapter 7, Emerald group publishing limited, Bingley: UK, pp. 139-155, November 2009.

●研究論文

「日本市場における欧州企業の国際合弁パートナーシップ」(Jean-François Hennart氏との共著)『経営研究』第59巻4号、205-218頁、2009年2月。

“Are joint ventures between Japanese and Western firms vehicles for innovation and change or zero-sum learning races? A test of the

Trojan horse hypothesis” (Co-authored with Jean-François Hennart), *Osaka City University business review*, vol. 20, pp. 1-14, May 2009.

「トロイの木馬仮説の実証分析に向けた操作仮説の構築」『経営研究』第60巻第1号、21-33頁、2009年5月。

「トロイの木馬仮説の意義と限界」『経営研究』第60巻第2号、37-55頁、2009年7月。

“Comparative evolution of Japanese-European joint ventures in Japan and Europe” (Co-authored with Jean-François Hennart), *Conference proceedings of 35th Annual conference of European International Business Academy (CD-ROM)*, University of Valencia, Valencia, Spain, 13-15th December 2009.

●学会発表等

“Do Japanese use Japanese-European JVs as Trojan horses in foreign markets?” (Co-authored with Jean-François Hennart), 16th International conference of MOPAN (Multi-organizational partnerships, alliances and networks), National University of Ireland, Dublin, Ireland, 19th June 2009.

“Comparative evolution of Japanese-European joint ventures in Japan and Europe” (Co-authored with Jean-François Hennart), *35th Annual conference of European International Business Academy*, University of Valencia, Valencia, Spain, 14th December 2009.

●書評

牛丸元著『企業間アライアンスの理論と実証』2007年、同文館出版（『組織科学』第42巻第3号95-96ページ、2009年3月20日発行）。

●その他

Session Chair : “Network and governance behaviors of senior public sector managers in a period of rationalization” (presenter: Kasey Treadwell-Shine) and “China-UK strategic alliances in higher education” (presenter: Xiaoqing Li), 16th International conference of MOPAN (Multi-organizational partnerships, alliances and networks), Parallel strand 3, Session 2, National University of Ireland, Dublin, Ireland, 19th June 2009.

石川博行

●研究論文

「配当政策と株式市場－コロボレーション効果の実証分析－」『証券アナリストジャーナル』第47巻第8号、2009年8月、23-30頁。

「増配企業と減配企業の財務プロフィール分析」『産業経理』第68巻第4号、2009年1月、99-108頁。

●書評

吉田和生『退職給付会計情報の分析』中央経済社、2009年『企業会計』第61巻第1号、2009年1月、147-147頁。

●その他

「連結財務諸表」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第4版）』2009年11月、141-147頁。

「関連会社への投資」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第4版）』2009年11月、148-152頁。

「1株当たり利益」桜井久勝編著『テキスト国際会計基準（第4版）』2009年11月、168-177頁。

「儲かる仕組みの分析」谷武幸・桜井久勝編著『1からの会計』碩学舎、2009年9月、160-174頁。

「減益局面での配当政策を考える」『IR-COM』2009年4月、4-7頁。

●セミナー報告等

「1日でわかる配当政策と株主還元」第112回IRサークル（特別研修）、国立オリンピック記念青少年総合センター、東京都、2009年8月21日。

「会計データを用いた株式価値の評価」第519回有恒会大阪北支部3月例会、関西文化サロン、大阪市、2009年3月25日。

「増配企業と減配企業の財務プロフィール分析」兼松セミナー、神戸大学経済経営研究所、神戸市、2009年1月24日。

太田 雅治

●著書

生産情報システム、第二版（情報システムライブラリ）単著、日科技連出版社、2009年1月。

● 研究論文

Case Analysis to study the comprehensive innovation process with Actor Network Theory, (Co-author: Shiro Takeoka, Naoya Takayanagi, Yohsuke Hazama) Asia Pacific Conference on Information Management, Peking University, Beijing, China, 27-29 March 2009, 27-29 March, 2009, pp.103-119.

Innovation Process Model and its verification with Japanese enterprises survey, (Co-author: Yohsuke Hazama) Proceedings of 16th international Annual EurOMA Conference, 14-17 June 2009, Goteborg, Sweden, 14-17 June, 2009, on CD-ROM.

イノベーション研究におけるアクター・ネットワーク理論の適用可能性、(竹岡志朗との共著) 日本情報経営学会誌、30巻1号、2009年7月、52-63頁。

Case Analysis to study the comprehensive innovation process with Actor Network Theory, (Co-author: Shiro Takeoka, Naoya Takayanagi, Yohsuke Hazama) Journal of Information and Management, Vol.30, No.2, Nov., 2009, pp.74-89.

●学会発表

システムティックイノベーションに向けた課題、日本情報経営学会第59回全国大会予稿集、名古屋大学、名古屋市、2009年11月21-22日。

岡野 浩

●著書

Managing Sustainability and Creativity: Urban Management in Europe and Japan, Urban Research Plaza, Osaka City University, 2009.

●研究論文

「日本の管理会計の連続性と非連続性」『会計』第 175 巻第 3 号、2009 年 3 月。

「管理会計戦略の実践的射程：実践に埋めこまれた理論」『企業会計』第 61 巻第 6 号、2009 年 6 月。

「グローバル創造都市の文化ブランド戦略：都市の包容力・バランス・俊敏性」佐々木雅幸・水内俊雄編『創造都市と社会包摂：文化多様性・市民知・まちづくり』（G-COE 中間報告）水曜社、2009 年。

「パブリックセクターにおける戦略的業務革新：大阪モデルの再構築」富澤修身編『大阪新生へのビジネス・イノベーション：大阪モデル構築への提言』ミネルヴァ書房、2009 年。

「管理会計の進化と創造」『会計之友』（巻頭特集）中国、2009 年 11 月。

●学会報告

“City, Culture and Society: An International Journal on Urban Research Journal,” OCU/URP Sub-center Opening Workshop at University of Melbourne, Feb.2-3, 2009.

“Japanese Government Accounting and DEB in the 19th Century,” American Accounting Association Annual Meeting, Hilton Anaheim, 1-5 August, 2009.

“Knowledge and Technology of Double Entry and Modernization of Japan,” *Accounting, Business & Financial History* Workshop, 27 October 2009, Kobe University.

「社会持続発展的可能性与管理会計研究」中国会計学会・管理会計部会大会、東南大学、中国・南京、2009 年 12 月 5-6 日。

“The characteristics of control: A case study of a Japanese-Chinese Joint Venture,” The 8th International Symposium on Empirical Accounting Research in China, Beijing, China, 18-20 December 2009.

●講演

“Strategic Management Accounting at Japanese Automobile industry,” 東南大学客員教授就任講演、中国・南京、2009 年 12 月 5 日。

「都市経営と社会持続的発展：G-COE 拠点としての都市研究プラザにおける取り組みと BOP ビジネス」『大阪市立大学商学部 60 周年記念・国際シンポジウム』2009 年 11 月 13-14 日。

●その他

「円卓討論：日本の管理会計の連続性と非連続性」日本会計研究学会第 67 回全国大会、統一論題『会計』第 175 巻第 3 号、2009 年 3 月。

片岡 尹

●研究論文

「サブプライム危機とドル本位制」『経営研究』第 60 巻第 2 号、2009 年 7 月、1-19 頁。

加藤 司

●研究論文

加藤司「都市の発展と地域商業」「地域商業研究の展望」加藤司・石原武政編、『地域商業の構造』中央経済社、2009 年 7 月、1～29 頁、239～ 270 頁。

「卸売商業政策」石原武政・加藤司編著『日本の流通政策』中央経済社、2009 年 7 月、129～144 頁。

加藤司(崔 相鐵氏と共著)「流通チャネルの再編」崔 相鐵・石井淳蔵編著『流通チャネルの再編』中央経済社、2009 年 7 月、1～30 頁。

狩俣 正雄

●著書

「信頼の経営 —スピリチュアル経営の構築に向けて—」中央経済社、2009 年 2 月。

「支援型経営とスピリチュアル経営」『経営研究』第 60 巻第 1 号、2009 年 5 月、1-19 頁。

「共生と障害者雇用」『経営研究』第 60 巻第 3 号、2009 年 11 月、17-38 頁。

「CSR と障害者雇用の課題」『大阪新生へのビジネス・イノベーション』富澤修身編著、ミネルヴァ書房、2009 年 10 月、86-104 頁。

川村 尚也

●研究論文

「第9章 PPPによる新公共サービスの創造—小規模企業の職域健康増進と経営革新—」川村尚也・濱井和子、富澤修身（編著）『大阪新生へのビジネス・イノベーション-大阪モデル構築への提言-』ミネルヴァ書房、2009年10月、169-189頁。

「Activity Theory as a Methodology of Knowledge Management」Takaya Kawamura, 『日本情報経営学会誌』Vol.29 No.2、2009年1月、36-51頁。

●学会発表

「文化-歴史的活動理論を用いた組織研究の可能性」川村尚也、ヴィゴツキー学研究集会 2009(ヴィゴツキー学協会主催) 園田学園女子大学(尼崎市) 2009年8月1日、招待講演。

「The Role of Vegetables in the Creation of National Dietary Culture - An Activity Theoretical Analysis of the Transformation of Japanese Home Cooking in the 1960s and 1970s -」 Takaya Kawamura, Chisako Takashima, Yusuke Inoue, Tamaki Bitoh, and Yujin Yamada, The 25th European Group for Organization Studies Colloquium, ESADE Business School, Barcelona, Spain, 2009年7月2-4日, 22 pages on the web and in proceedings CD-ROM.

「Work and Organization of Cultural Profession and Cultural Change: An Activity Theoretical Analysis of Japanese Professional Culinary Work and Organizations in the 1960s and 1970s」 Takaya Kawamura, Chisako Takashima, and Yusuke Inoue, The 10th International Conference on Arts & Cultural Management (AIMAC), Southern Methodist University, Dallas, Texas, 2009年6月28日-7月1日, 15 pages on the web and in proceedings CD-ROM.

「小規模企業就労者の健康と職域健康増進への取り組みが企業業績に与える影響—製造業2社での予備調査を踏まえた質問紙票調査の設計—」川村尚也・濱井和子・三橋利晴、第82回日本産業衛生学会一般演題ポスター発表 P2028、福岡国際会議場（福岡市）2009年5月21日、第82回日本産業衛生学会プログラム・CD-ROM版講演集435頁（日本産業衛生学会誌第51巻臨時増刊号、2009年5月）。

「An Activity Theoretical Analysis of Japanese Professional Culinary Work and Organizations in the 1960s and 1970s」 Takaya Kawamura, Chisako Takashima, and Yusuke Inoue, Workshop – Transformation of work: Developing methods and concepts of the changing nature of work activity in

organizations, Chemnitz University of Technology, Chemnitz, Germany, 2009年3月26-29日, 17 pages on the web.

「Sustainable Regional Development with a Regional SNS hosted by a Local Government」 Hiroshi Togo, Kosei Enomoto, Takaya Kawamura, Asia Pacific Conference on Information Management 2009, 北京理工大学（北京、中華人民共和国）2009年3月29日, 16 pages in proceedings CD-ROM。

● その他

大阪市立大学国際シンポジウム「経営のイノベーティブ・サステナビリティ」第2日午後「食と経営」セッション企画・司会、小林哲・川村尚也、大阪市立大学国際シンポジウム「経営のイノベーティブ・サステナビリティ」大阪市立大学文化交流センター ホール(大阪市) 2009年11月14日。

講演「医療機関・福祉施設の ナレッジ・マネジメント(知識経営)」大阪市立大学文化交流センター ターム講座9月《金曜コース》大阪市立大学文化交流センター ホール(大阪市) 2009年9月25日。

小林 哲

● 研究論文

「酒類業界の流通再編と取引制度革新」 崔相鐵 ・石井淳蔵『(シリーズ流通体系2) 流通チャネルの再編』中央経済社、2009年7月、105-135頁。

「都市のブランド戦略 - 「大阪ブランド戦略プロジェクト」を事例として -」 富澤修身、『大阪新生へのビジネス・イノベーション - 大阪モデル構築への提言 -』ミネルヴァ書房、2009年10月、209-224頁。

●学会発表

「地域ブランド戦略のマネジメントーフラクタル構造型ネットワークモデルの可能性ー」日本商業学会全国大会、関西大学、吹田市、2009年5月31日。

下崎 千代子

● 著書

『環境変化と企業変革』亀田速穂・高橋敏朗との編著書、白桃書房、2009年11月。

● 研究論文

「米国における職務動機づけ論の新動向」『経営研究』第59巻第4号、2009年2月、171-185頁。

「中小製造業における人材採用・確保・育成」富澤修身編著、『大阪新生へのビジネス・イノベーション』ミネルヴァ書房、2009年9月、67-85頁。

●学会発表

「企業における持続可能なイノベーション環境の構築-A社における最先端技術情報の良循環システム事例-」田村 充弘・下崎 千代子、日本情報経営学会第57回全国大会、宮崎産業経営大学、宮崎市、2008年10月26日。

「オランダにおける柔軟な働き方」下崎 千代子、日本テレワーク学会第11回研究発表大会、産業能率大学自由が丘キャンパス、東京都、2009年6月21日。

ESTABLISHING AN INFORMATION CHANNEL FOR CONTINUOUS INNOVATION IN BUSINESS (共著) Nakatsuka, kiyoka Tamura, Mitsuhiro Yaki, Yukiko Shimozaki, Chiyoko, APCIM2009, 北京大学, 北京, 2009年3月28日。

A Case of Informational Channel Creating Knowledge, (共著) Nakatsuka, kiyoka Tamura, Mitsuhiro Yaki, Yukiko Shimozaki, Chiyoko, ITA(International Telework Academy)2009, Turku School of Economics, Poli in Finland, Aug 27, 2009.

鈴木 洋太郎

● 著書

『産業立地論』原書房、2009年11月、176頁。

高橋 信弘

● 著書

『国際経済学入門 ―グローバル化と日本経済―』ナカニシヤ出版、2009年5月。

● 研究論文

「ソフトウェア産業の競争力と開発モデル」(共著)『日本中小企業学会論集』第28号、2009年8月、190-202頁。

「大阪における企業間の共同開発の促進」富澤修身編『大阪新生へのビジネス・イノベーション ―大阪モデル構築への提言―』ミネルヴァ書房、2009年10月、138-144頁。

"Technology Transfer to Chinese Firms through Offshore Software Development"(共著)『北東アジア研究交流ネットワーク年報』第3号、2009年10月、pp.31-35.

● 学会発表等

「日中間のソフトウェアのオフショア開発と日本のソフトウェア産業への影響」企業家研究フォーラム年次大会、大阪大学中之島センター、大阪市、2009年7月11日。

"The Osaka Model: New Methods of Promotion for Joint Development in Japan," ICSB (International Council for Small Business) World Conference 2009, COEX, Seoul, South Korea, June 22, 2009.

"The Influence of Offshore Development on Strategies for Developing China's Software Industry" (共著) Americas Conference on Information Systems 2009, San Francisco Marriott, San Francisco, California, USA, Aug 8, 2009.

「日本のソフトウェア産業に関する一考察 ―競争力の欠如と開発モデル―」(共著)台北国際セミナー、淡江大学、台北県淡水鎮、台湾、

2009年3月27日。

「日本のソフトウェア産業に関する一考察 ―競争力の欠如と開発モデル―」（共著）日台デジタルコンテンツ産業フォーラム、国立中央大学客家学院、桃園県中壢市、台湾、2009年3月30日。

高田 輝子

●研究論文

"Simulated minimum Hellinger distance estimation of stochastic volatility models", Computational Statistics and Data Analysis, 53, 2009, pp. 2390-2403.

●学会発表

「ノンパラメトリック確率密度推計によるリスクーリターン関係の分類」 2009年度 統計関連学会連合大会、同志社大学、京都、2009年9月。

“Extracting Phases of Financial Markets” The Fourth International Workshop on Data-Mining and Statistical Science (DMSS 2009) Kyoudai Kaikan, Kyoto, July 2009.

田口 直樹

●書評

書評「著者名『著書名』出版社名、出版年」行本勢基「中国金型産業における供給体制の確立-技術能力の日中比較を通じて」『高松大学紀要』NO.51, 89—115頁『中小企業季報』第2号、2009年7月、44-45頁。

田村 晃二

●ワーキングペーパー

「近年にみる流通系列化政策と信頼 ―ハーレーダビッドソン ジャパンのチャンネル政策のケース（1）」大阪市立大学大学院経営学研究科ワー

キングペーパー、No.200907、2009年12月。

●書評

書評「デービッド・A・アーカー（大里真理子訳）『シナジー・マーケティング 一部門間の壁を越えた全社最適戦略』ダイヤモンド社、2009年」『JMA Marketing View』第47号、2009年7月、8頁。

翟 林瑜

●研究論文

「IPOにおける逆V字型経営業績と「幻の初期収益率」」証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』第47巻第2号、2009年2月、80-92頁。

「IPOにおける市場間の棲み分けと主幹事証券会社間の同質化」証券経済研究所『証券経済研究』第66号、2009年6月、21-37頁。

「コーポレート・ガバナンスにおける機関投資家の役割（上）-機関投資家と投資先企業の経営業績の関係の視点より-」大阪市立大学『経営研究』第60巻第3号、2009年11月、1-15頁。

●学会発表

「IPOから見る新興市場の再編」証券経済学会関西支部会、大阪証券取引所、2009年4月25日。

●その他

新聞寄稿：「新規公開、審査の質向上を」日本経済新聞「経済教室」2009年5月15日。

講演：「新興市場の課題と活性化向けの方策」日本証券アナリスト協会、場所：日本証券アナリスト協会、2009年9月11日。

講演：「新興市場の課題と活性化向けの方策」日本証券アナリスト協会、場所：大阪銀行協会、2009年9月18日。

富澤 修身

● 著書

『大阪新生へのビジネス・イノベーション』（編著）ミネルヴァ書房、2009年10月。

● 研究論文

「繊維関連企業を取り巻く経営環境と経営戦略」『日本紡績月報』696号、2009年11、12月、3-25頁。

●その他

『大阪市立大学都市問題研究プロジェクト平成20年度 報告書 都市におけるファッション産業と食文化産業の魅力形成に関する基礎的研究』（編著）大阪市立大学大学院経営学研究科発行、2009年3月、1-142頁。

「ポール・ナイストロム『ファッションの経済学』（1928年出版）の紹介」『染協ニュース』2009年8月、7-10頁。

中瀬 哲史

● 研究論文

「大阪の家電企業によるグローバル化と経営改革」『経営研究』第59巻第4号、2009年2月、187-204頁。

西村 弘

●研究論文

「交通権と「脱クルマ社会」-移動の自由から交通の自由への意味-」『交通権』第26号、2009年3月、27-37頁。

「道路は生活から-新たな道路政策理念の必要性-」『ECO-FORUM』第26巻第3号、2009年3月、28-32頁。

●学会発表

「環境と交通：地球環境問題と交通における自由 - 「将来世代への責務」はあるのか？-」日本交通学会、2009年10月3日（拓殖大学）。

「道路公害と道路政策の現状と課題」日本環境会議、2009年11月22日（尼崎市アルカイクホール）

●その他

「大気汚染公害裁判和解後の連絡会に参加して」『リベラ』第110号、2009年9月、2-3頁。

「高速バスの新しい位置づけ」、座談会司会（2009年1月14日）『運輸と経済』誌、2009年3月号、4-12頁。

「フォーラム：低炭素社会と交通、パネラー出席」（2009年9月3日）『運輸と経済』誌2009年12月号、92-105頁。

ト 志強

●研究論文

「市場連鎖管理とアメーバ経営との比較—中国進出日系企業への示唆—」企業会計、第61巻第6号、2009年6月、35頁—41頁。

「原価企画の回顧と展望」経営研究、第60巻第2号、2009年7月、21頁—35頁。

●学会発表

「日中企業管理会計システムの比較」21世紀の中国発展国際シンポジウム、昭和大学、東京、2009年12月6日。

藤井 輝明

●ワーキングペーパー

「実験経済学と社会統計学の接合 —藤山英樹氏の所説に寄せて—」OCU-GSB Working Paper、No.200906、2009年12月。

本多 哲夫

●研究論文

「中小企業と金融問題」高田亮爾・上野紘・村社隆・前田啓一編『現代中小企業論』同友館、2009年2月、99-111ページ。

「中小企業政策とは何か」高田亮爾・上野紘・村社隆・前田啓一編『現代中小企業論』同友館、2009年2月、287-302ページ。

「大阪市における中小製造企業の革新—大阪の都市再生に向けて—」富澤修身編『大阪新生へのビジネス・イノベーション—大阪モデル構築への提言—』ミネルヴァ書房、2009年10月、29-45ページ。

●その他

「自治体の産業政策を考える」『中小商工業研究』第98号、2009年1月号、131-135ページ。

「日本型地域イノベーションシステムと公設試験研究機関」第13回自治労全国研究職集会、ラ・プラス青い森、青森、2009年10月16日。

向山 敦夫

●研究論文

「CSR経営を支援する会計システム —付加価値会計の可能性と限界—」（日本会計研究学会特別委員会「環境経営意思決定と会計システムに関する研究（中間報告書）」2009年9月、175—184頁。

●学会発表

「環境情報開示の意義 —3つの視点—」日本貿易学会第49回全国大会、近畿大学、2009年5月30日。

「非営利組織とSR（Social Responsibility）」第26回日本経営分析学会年次大会、東洋大学、2009年6月6日。